

Ⅱ度以上の褥瘡の新規発生件数

分子 発生件数

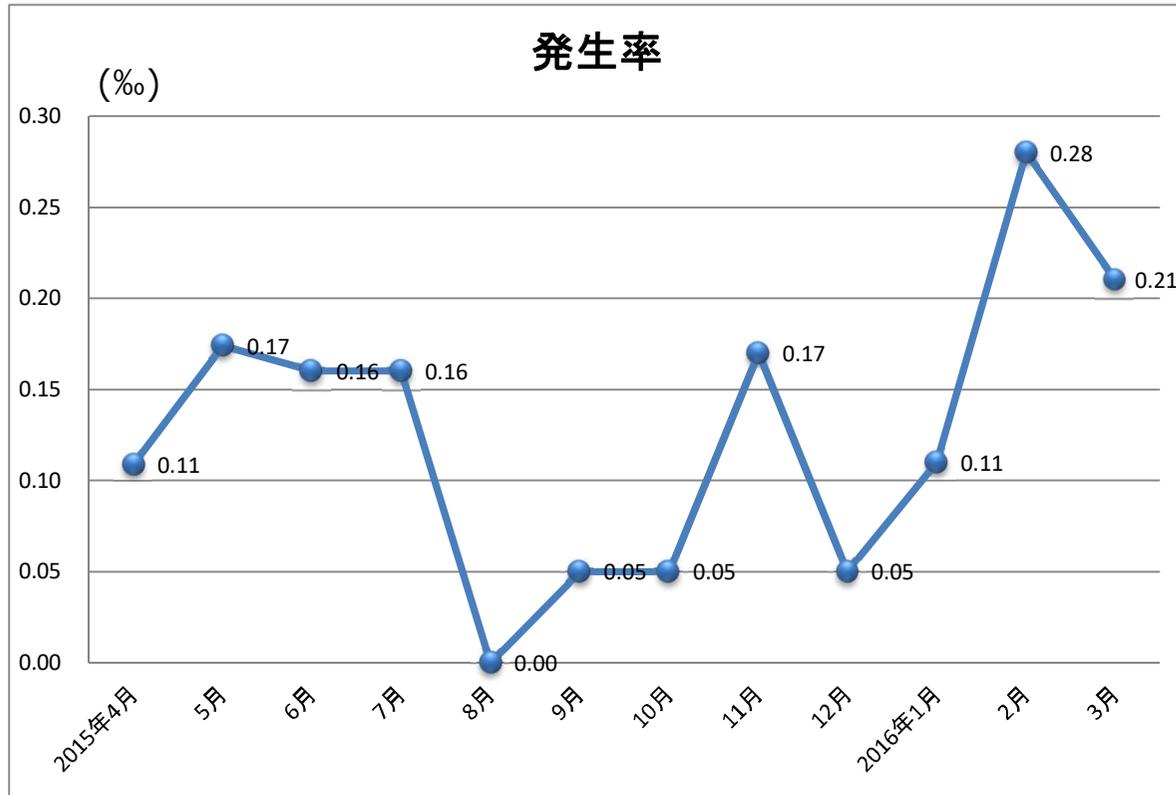
分母 計測期間における、延入院患者数

※分母設定は「高齢者(75歳以上)の退院患者数」としている病院もあります。(国立病院機構臨床評価指標)

| 年月 | 2015年4月 | 2015年5月 | 2015年6月 | 2015年7月 | 2015年8月 | 2015年9月 | 2015年10月 | 2015年11月 | 2015年12月 | 2016年1月 | 2016年2月 | 2016年3月 | 年間 |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|----------|---------|---------|---------|---------|
| 分子 | 2 | 3 | 3 | 3 | 0 | 1 | 1 | 3 | 1 | 2 | 5 | 4 | 28 |
| 分母 | 18,326 | 17,224 | 18,136 | 19,034 | 18,503 | 18,201 | 18,802 | 18,100 | 18,519 | 18,019 | 17,943 | 18,700 | 219,507 |
| 発生率(%) | 0.11 | 0.17 | 0.17 | 0.16 | 0.00 | 0.05 | 0.05 | 0.17 | 0.05 | 0.11 | 0.28 | 0.21 | 0.13 |

・計算式 パーミル(‰)

・入院患者1000人あたり何人 Ⅱ度以上の新規褥瘡が発生しているかを表している 分子/分母×1000

**<解説>**

褥瘡の発生は、患者さんの生活の質(QOL)を低下させる要因となり、また褥瘡部位から感染症を発生した場合、他の疾患に対する治療に影響を与えるだけでなく、敗血症から死に至ることもあります。患者さんの状態によっては褥瘡の発生予防が困難な場合もありますが、褥瘡対策に関する診療計画に基づいて、適切な褥瘡対策を行っていくことが求められます。